

<アントロポゾフィー医療講座>

健康と病気

～アントロポゾフィー医療の視点から～

科学がどれだけ発達しても、病気はなくなっていない。
むしろ、先進国と呼ばれる国の中で、喘息やアレルギーや発達障害や、
がんなど増えている病気もあります。

本当に科学は病気を無くせるのでしょうか。

そして、健康とは何なのでしょう？病気を無くしたら、健康なのか。

子どもの病気と大人の病気は何か違うのか、同じなのか？

何度も取り上げているテーマですが、健康と病気について、

予防接種も含めて、さらに一緒に考えてみましょう。

日 時 2013年11月8日(金) 10時～12時
場 所 小さいお家(福津市宮司浜 2-16-38 宮司コミセンとなり)
参加費 1500円(NPO 法人賢治の学校ふくおか正会員1000円)
講 師 安達 晴己(一般内科医、アントロポゾフィー医学認定医師)

～託児保育あります。(1歳以上、1人800円)～

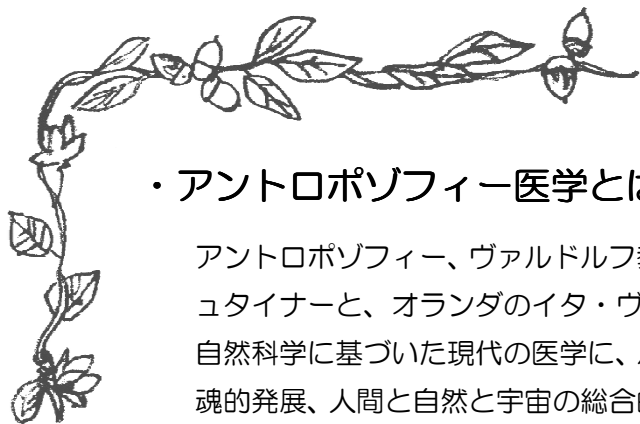
お子さんの様子によっては、無理にお預かりしない場合もあります。

1週間前までに必ずお申し込みください。当日のキャンセルは保育料のみ全額いただきます。

<お申し込み>

申し込み期日 2013年11月1日(金)

お 名 前			
ご 住 所	〒		
電 話 番 号		FAX	
E-mail			
託 児 アレルギー等ありましたらご記入下さい	名前：	(才)	名前： (才)
質問等ありましたら、ご記入下さい。できれば当日お答えします。			



・アントロポソフィー医学とは

アントロポソフィー、ヴァルドルフ教育の提唱者であるオーストリアの哲学者ルドルフ・シュタイナーと、オランダのイタ・ヴェーグマン医師によって研究・実践された医学である。自然科学に基づいた現代の医学に、ルドルフ・シュタイナーが研究した人間の本质や身体的魂的發展、人間と自然と宇宙の総合的な進化についての認識を付け加えるものである。世界60か国以上に広がり、ドイツ・スイスでは公的保険が適応される病院や診療所がある。日本では2004年から海外講師を招いての国際アントロポソフィー医学セミナーが開かれ、医師・医療従事者が研修している。

・小さいうち自由クリニック

2011年11月に福津市に開業。自由診療でアントロポソフィー医学に基づく医療を行っている。医師の診断のもと、薬物療法やオイリュトミー療法、アインライブング（オイル塗布療法）を受けることができる。

・講師プロフィール

安達 晴己

一般内科医、アントロポソフィー医学認定医。

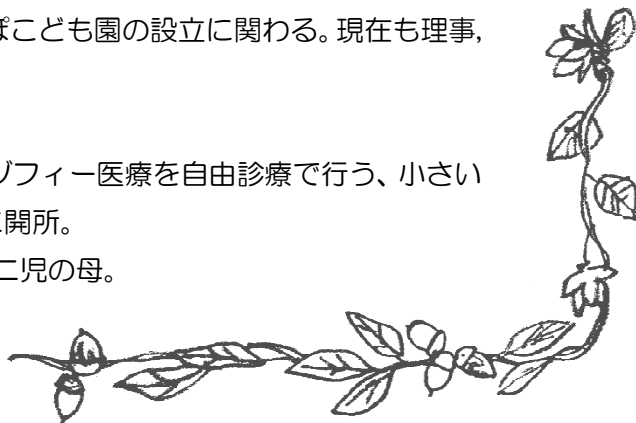
医師として研修後、子育てを通してアントロポソフィーと出会う。

賢治の学校ふくおかの活動に参加。親としてたんぼぼこども園の設立に関わる。現在も理事、園医を務める。

2010年アントロポソフィー医学の認定医を取得。

通常医学の診療所に非常勤として勤務。アントロポソフィー医療を自由診療で行う、小さいうち自由クリニックを福津市に2011年11月に開所。

日本アントロポソフィー医学のための医師会代表。二児の母。



<主催・お問い合わせ>



NPO法人
賢治の学校ふくおか

〒811-3311 福岡県福津市宮司浜3-6-26

tel&fax 0940-52-0886 (牧野)

e-mail: kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp

<http://www.kenjinogakkou-fukuoka.com>

たんぼぼこども園 所在地： 福津市宮司浜3-6-8

そらの家 所在地： 福津市宮司浜3-6-26